

中部地区の社会教育をつなぐ、ひろげる

わくわく中部



中部教育局社会教育担当だより 平成28年8月18日発行

8月の主な行事予定

8月30日(火)

中部地区社会教育関係者研修会 兼 中部地区生涯学習実践研究交流会 (三朝町総合文化ホール)



第3回中部地区人権教育懇談会 (PTA対象) 開催!

平成28年7月30日(土)に、倉吉体育文化会館でPTAを対象とした中部地区人権教育懇談会を開催しました。「地域と共に創るとっとり人権教育事業」で取り組んでいる人権教育プログラムを体験していただきました。保護者としていじめを防ぐためにどう関わるのかを考えていただきました。体験していただいたプログラムについては、研修会に生かしていただけるよう、使いやすいものにしていきたいと考えています

人権教育プログラム体験「かけがえのないあなたたちへ(平成28年度版)」

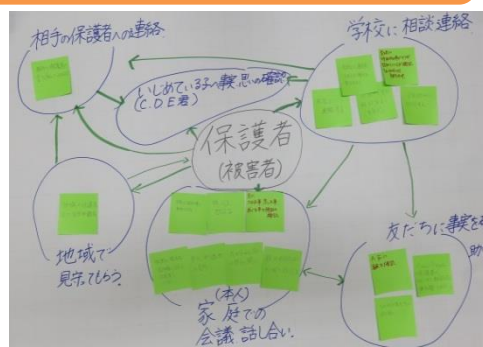
ファシリテータ 人権教育プログラム作成委員



資料「何とかしなきゃ」※要約

最近、友達C、D、Eにパンチやキックをされたり、田んぼに落とされたりすると母に打ち明ける息子B。友達Cはこれは遊んでるだけと言ってるようだ。先生に言うのを息子Bは告げ口すると何かされるのではと嫌がる。B母はB父に相談し、二人で悩む。友達C、D、Eの保護者に直接言うか。それとも様子を見ていた友達の保護者に相談するか。いじめとはっきりしてから先生に相談するか。「何とかしなきゃ」

- 1 アイスブレイク グループ内で簡単な自己紹介ゲーム
- 2 展開① 資料「何とかしなきゃ」を使って話し合う。
 - ・いじめられている子どもはどんなサインを出すのか考える。
- 3 展開② いじめを助長させないための保護者の行動について話し合う。
 - ・被害者の保護者は誰に何をすべきか。取るべき行動を「ネットワークイメージ」として模造紙にまとめる。
- 4 まとめ (ファシリテータ)
 - ・子どもが出す小さなサインを見逃さないことがいじめ抑止の行動の始まりである。
 - ・いじめに対応するためには保護者と教職員の良い人間関係が必要である。



「ネットワークイメージ」の一例

【参加者の感想より】

- 受け身の研修ではなく、リラックスした中でいろいろな意見交換ができてよかった。
- 今後、いつ、いじめに出会うかもしれないので子どもの様子を見逃さないよう、子どもの話を聞きたいと思った。
- いじめは自分だけでは解決しない。普段から学校、親、地域との関わりをもたないといじめが起きたときに連携できないと改めて感じた。
- 具体的な例をもとにして話し合い、保護者としてどのような行動をするのか、グループの一人一人が提案できた。自分とは違う見方や考え方を知ることができてよかった。



中部地区社会教育関係者研修会兼 中部地区生涯学習実践研究交流会の 開催について

講師プロフィール

島根県教育魅力化特命官

岩本 悠さん

東京都生まれ。学生時代にアジア・アフリカ20カ国の地域開発の現場を巡り、その体験記『流学日記』を出版。印税等でアフガニスタンに学校を建設。卒業後は、ソニーで人材育成・組織開発・社会貢献事業等に従事する傍ら、学校・大学における開発教育・キャリア教育に取り組む。2007年より海士町で隠岐島前高校を中心とする人づくりによるまちづくりを実践。2015年から現職。

中部地区社会教育関係者研修会兼中部地区生涯学習実践研究交流会

みんなでつくろう ふるさとの魅力

～若者から学び ともに考えるまちづくり～

鳥取県に限らず、全国で少子化・高齢化が進む中、地域の活力の低下が懸念されています。若者の力をいかに引き出し、いかに活用するかが、地域を発展させるカギになると考えます。県内・県外の様々な取組を紹介しながら、これからのまちづくりを考えます。

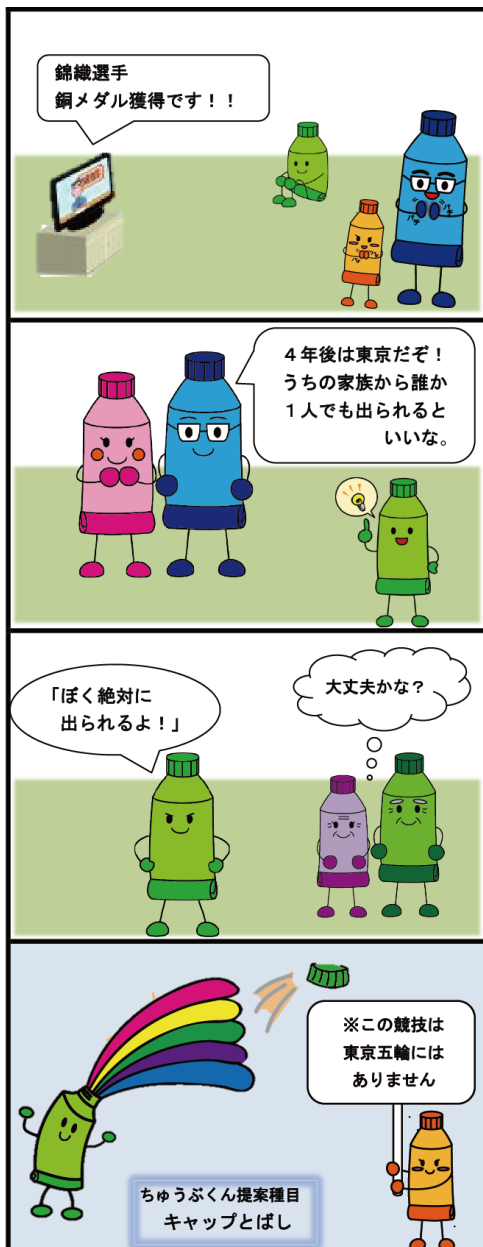
日時 平成28年 8月30日(火)
13:30～16:40(受付13:00～)

会場 三朝町総合文化ホール 大会議室
(三朝町大瀬999-2)



ちゅうぶくん

～オリンピックへの道～



(1) 基調講演 13:40～14:30
「魅力ある次代の人づくり～子ども総活躍地域づくりを目指して～」
講師：島根県教育魅力化特命官 岩本 悠さん

(2) パネルディスカッション 14:40～16:30 進行：岩本 悠さん
実践発表を交えながら、それぞれの取組について掘り下げます

実践発表者

- ① 「地域探究の時間」鳥取中央育英高等学校 林 佑亮さん・谷口 涼香さん
- ② 「高校はないが、高校生はいる～高校生への仕掛けが町の未来を変えるに違いない～」
南部町教育委員会事務局人権・社会教育課 主幹兼社会教育主事 大下 真史さん
- ③ 「あなたの“縁”結びます」三朝町青年団 団長 河藤 正隆さん
- ④ 「楽しい経験・体験を通して、共に成長し目指してくれる大人に!」
湯梨浜町若者集団「大介」 代表 三ツ田 達彦さん



活気のあるまちづくりのために若い世代がどんなことを望み、どんな取組をしているのか。県内外の若者の取組を知るチャンスです。
参加希望の方は中部教育局の西村までお願いします。

【あとがき】

日本の裏側のブラジルでは、白熱した競技が繰り広げられています。オリンピックで活躍する選手、特に日本の選手には目が離せません。夕飯を食べ終わる頃から、そして寝床に入ってからテレビに釘付けです。おかげでテレビをつけっぱなしで寝る日が続いています。今月の電気代が気になります。がんばれ！ニッポン！

中部教育局 社会教育担当 西村 信彦

電話 0858-23-3253

FAX 0858-23-5203

E-mail nishimuran@pref.tottori.jp